

# HIGASHIOSAKA CENTRAL ROTARY CLUB

(第 2660 地区)

WEEKLY BULLETIN

No.18

## 東大阪中央ロータリークラブ

創 立 昭和47年2月20日  
例 会 日 毎週月曜日 12:30~  
例 会 場 所 シェラトン都ホテル大阪3F  
事 務 局 東大阪市小阪本町1丁目5-14  
〒577-0802 小阪本町ロイヤルハイツ 405号  
TEL: 06-6753-8823  
FAX: 06-6753-8826  
E-mail: jahcrc@gmail.com



会 長 岩 橋 竜 介  
会 長 ノ ミ ニ 一 尾 崎 元  
副 会 長 佐 井 義 昌  
幹 事 岩 崎 史 郎  
会 報 委 員 長 百 濟 洋 一

## ” Serve to Change Lives ”

「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」

2021~2022 年度 国際ロータリー会長 シェカール・メータ

### 第 2176 回例会 令和 4 年 2 月 21 日 (月曜日) 第 18 号

#### 本日の例会 2月21日(月) 第2例会

- ソング 『我等の生業』
- 卓話 「新型コロナウイルス 最近の知見」  
担当；尾崎 元

#### 本日の献立 次回の例会 3月7日(月) 第1例会

- 卓話 「会員増強について」  
担当：細川 勝治
- スピーカー クラブ奉仕・増強拡大委員会 委員長  
加茂 次也 様

#### 前回の例会 2月7日(月) 第1例会

- 卓話 「禍い転じて福となす」岩橋竜介会長

#### 会長挨拶 会長 岩橋 竜介

今朝小川会員から連絡があり、息子さんが発熱で診察に行ったところ、新型コロナ陽性であるとのことで、お休みすることになりました。速やかな回復を祈ります。それで、急遽私が卓話を引き受けることにしました。

ピアノの辻本先生が、いつものようにその時期にふさわしい選曲をしてくださり、先程はトワエモアの「虹と雪のバラード」を弾いてくださいました。これは札幌五輪のテーマソングでもありました。今、北京冬季五輪が開催されており、昨日はジャンプ・ノーマルヒルで、小林陵侑選手が金メ

ダルを取りました。見事なジャンプであり、期待通り金メダルを獲得されたのは驚くべきことだと思います。

今日は米山奨学生のウ・ジョンフンさんもお越しくださいました。ジョンフンさんは、3月で米山奨学生卒業となり、例会でお会いするのも数少なくなりました。4月からは株式会社ロームに勤務されるとのこと。また京都での勤務で、昨日は住まいも見つけられたとのことですが、これで終わりではなく、末永く私どもの付き合いをしてくださり、いつでも月曜日の例会に戻って来てください。

50周年記念式典は4月24日に延期が決まり、吉川ガバナーは、先約があり欠席されますが、ビデオレターを送ってくださることになりました。

コロナ禍が厳しい中ですが、何とかクラブの運営を継続して行きたいと願っています。

#### 幹事報告 幹事 岩崎 史郎

- ① 本日例会終了後、5階カトレアにて、定例理事役員会を開催いたします。理事の皆様には宜しくお願い致します。
- ② 2月21日(月)通常例会がございます。皆様お間違えのないよう、御出席よろしく

お願い致します。

- ③ 2月19日(土)はIMRDです。  
13時30分より、YouTube(ユーチューブ)  
オンライン視聴となっておりますので、ご参  
加のほどよろしくお願い致します。

#### 出席報告 芝池 委員

本日の会員数	18名
本日の出席者数	10名
本日の出席規定適用免除会員	5名
本日の出席率	83.33%
1月31日の修正出席率	88.89%

#### 2月のお祝い

- 入会記念日 佐井義昌、岩橋竜介(各会員)
- 配偶者誕生日 金子桂様、岸上幸世様
- 結婚記念日 佐井義昌、尾崎 元(各会員)

#### 卓話 担当 岩橋 竜介会長

「禍い転じて福となす」

本日は、先程の会長挨拶でも申し上げましたが、小川会員に代わって、急遽私が卓話を担当させていただきます。

冬季オリンピックのことを申し上げましたが、皆さんはどの競技がお好きでしょうか？またどんな競技が思い出として残っておられるでしょうか？昨日は小林陵侑選手が金メダルを取りましたが、皆さんの中には、むしろ「日の丸飛行隊」の方が記憶に刻まれているのではないかと思います。笠谷、青地、金野の3人が表彰台を独占したあの姿です。

私個人は、今から20年前、2002年のソルトレークオリンピックで、ショートトラックで優勝した、オーストラリアのステーブン・ブラッドバリー選手を思い出します。この方は、オーストラリアのみならず、南半球に最初の冬季オリンピック金メダルをもたらした方です。その時の映像をご覧ください。(YouTubeビデオを見る)

準々決勝、準決勝、共に上位の選手が失格したので、彼は何とか決勝に進みました。アメリカ、カナダ、韓国、中国の上位選手たちとは実力がかなり空いており、ご覧になったように、だいぶ後ろを滑っていました。優勝などとは程遠いところでした。しかし、最後のコーナーで上位の4人が皆 転倒し、全然関係ないところを滑っていたブラッドバリー選手は、巻き込まれることもなく、1位でゴールし、何と優勝できたのでした。ゴールの後、「俺でいいの？」みたいな顔をしていたのが印象的です。

この五輪の前に大怪我をしていたのですが、それでも出場し、本当は敗退していたかもしれないような滑りでしたが、それでも諦めないで、とにかく自分のやるべきことを懸命に果たした結果、まさに勝利の女神は微笑んだのでした。

次にもう一つ、このビデオをご覧ください。

(「最後の最後までわからない」スポーツのシーンを集めたビデオを見る)

本当に、最後の最後まで勝負というものはわからないものです。ちなみに、私はよくこのビデオを話した時に見せるのですが、その時にお尋ねします。「あなたは、このビデオで、どの人に自分を重ねますか？」

もしこのビデオを見て「決して最後まで気を抜かない」と考えたならば、あなたはその時にトップを走っていた人であり、「決して最後まであきらめない」ということならば、あなたはきっと追いかけていた人にご自身を重ねていたのだと思います。もちろん私たちはそのどちらにもなることがあるのですが、共通して言えるのは、最後までわからないということだと思います。

最後にもう一つの映像をご覧ください。これは1984年のアトランタオリンピックの映像で、この五輪より採用された女子マラソンの出来事です。(当時の映像を見る)

この選手のことを覚えている方もおられるのではないかと思いますし、この映像をご覧になった方もおられるのではないかと思います。彼女はガブリエラ・アンデルセンというスイスのマラソン選手です。異常に暑かった日で、脱水症状となり、ふらふらになって最後まで走り抜きました。何度見ても感動する姿です。あきらめないで最後まで走り抜く…メダルはないかもしれませんが、メダル以上の感動と賞賛が彼女に与えられました。

私たちはスポーツから多くのことを学ぶことができますが、今日見ていただいたビデオクリップを通して大切なことを感じ取ることができると思います。

私は今年度会長となり、コロナ禍の中で、思うようにクラブの活動ができないもどかしさを感じていました。本当ならばこのようになっている…記念式典も延期となりました。思うようにいかない

ことは、悪いことのように考えますが、ふと一つのことを思い出しました。それは私がハンガリーロの活動を理事長としてしていた時のことです。今から12年前にケニアを訪ねました。その時は首都ナイロビから小型のセスナ機で1時間半ほど

北上した「コル村」を訪問しました。滑走路などない、原っぱに降り立つような、何もない小さな村です。視察を終えてナイロビに帰ろうとしセスナに乗り込むもののなかなか飛び立たない。きっと「ケニアタイム（普通よりものんびりした時間感覚）なんだろう」と思っていました、それでも飛ばないので苛立ちを覚え始めていました。その時に、パイロットの無線に一報が入ったのです。

それはその村の井戸に子どもが転落し、大怪我をしたとのこと。一命は取り留めましたか、脊髄損傷しているかもしれない、一刻も早くナイロビの大きな病院に運ばないと命に関わるかもしれない、とのことでした。早速私たちはスペースを作って子どもと母親を乗せ、ナイロビへと戻ったのでした。

その時に思わせられたのは、あの時もし時間通り飛び立っていたらきっとこの子の命はなかったかもしれない、一生起き上がれないような障害を抱えなければならなかったかもしれないということでした。その時はっと気付かされたのは「遅れることにも意味はあったのだ」ということでした。思うようにいかないことがよかった…『禍い転じて福となす』という言葉がありますが、まさにさまざまな禍いや問題があるからこそ、予定通り行っていたよりももっと素晴らしい結果を得ることができることがあるのです。

クラブの運営や50周年記念式典などが、思うようにいかない、遅らせないといけない…マイナスのことにように思いますが、きっとこれも意味がある。このように延期したからこそ、こんなに素晴らしいものになったのだと言えるようなことがあるかもしれない。そう期待できるのではないかと思います。だからこそ投げ出したり、あきらめたりすることなしに、最後まで走り抜きたいと思います。

今年の私たちのクラブのスローガンは、三つのCです。チェンジ・チャンス・チャージ。この変化の時、問題の多い時をチャンスと受け止め、チャージしていく。前進していく。まさにこのスローガンを今こそ心に留める時だと思えます。やがて、「あの時、うまくいかなかったことが、実はよかったのだ」と皆で思い返せるようになりたいと願っています。そのためにも、前を向いて皆さんと共に進んで行きたいと願わされています。



#### 2021～22年度 第7回定例度理事役員会議事録

1. 「2022年1月 トンガ海底火山噴火」支援金について 地区へ振込み期限：2月22日  
5,000円×18名=90,000円を振込む
2. 公徳学園 3月6日（日）枚方パーク招待の件  
委員長が訪問し、先方の意向を伺って決定する
3. 次年度、地区補助金申請受付開始（3/1～4/30）に伴い奉仕内容の検討  
引き続き、公徳学園への支援を継続する
4. 50周年記念式典の件  
・延期にあたっての今後の準備内容とスケジュール  
リハーサル 日程；3/28（月）例会終了後